

古典文法 識別編 第一回

◇ 「ぬ」

- 1 やがて走り入りぬ。
- 2 何と言ふべき言の葉もおぼえぬに、
- 3 あかぬ別れの、と言ひけることの、
- 4 車の尻に乗りぬ。
- 5 おもしろきうたなども覚えぬべし。
- 6 秋来ぬと目にはさやかに見えねども、